

2月保健だより

保育園夢未来東雲園

H31年2月20日(水)

暦の上では立春ですが、まだまだ寒い日が続きます。低温、低湿はウイルスが大好きな環境です。乾燥もしているので風邪を引かないように注意しましょう。また風邪をよせつけない体づくりや環境をつくっていきましょう。

囑託医 のずえ先生より

～地域で流行している感染症など～

○インフルエンザが引き続き流行しています。

うがい、手洗いを徹底して予防していきましょう。

※登園には医師記入の「意見書」が必要です。(HPよりダウンロードできます。)

※登園の目安:発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで。



心配なインフルエンザ脳症

インフルエンザの合併症で特に気を付けたいのがインフルエンザ脳症。特に0、1、2歳児は発症しやすく、後遺症が残ったり、重症化すると命を落としたりすることもあります。万が一下記のような症状が見られたら、すぐに救急車を呼んでください。



○インフルエンザを発症して1～2日後に突然高熱が出る。

○けいれんが10分以上続く。

○けいれんを繰り返す。

○呼びかけても反応しない。ぼーっとしている、目がうつろになっている。

○ずっと寝続けている。



風邪からくる急性中耳炎に注意

風邪を引いた後、気を付けたいのが「急性中耳炎」です。鼻水が耳管(花と耳をつなぐ管)を通して流れ込み、炎症を起こします。子どもの耳管は短くて太いため、急性中耳炎になりやすいです。

☆症状

- ・高熱
- ・一時的な難聴、閉そく感
- ・激しい耳の痛み

★中耳炎になりにくくするポイント★

○風邪を予防する

○鼻をすすらない、こまめに拭く ※2歳未満のお子様は耳鼻科での吸引がおすすめです。

○鼻をかむときは片方ずつ、ゆっくりと行う

一度中耳炎にかかると、繰り返すことが多いと言われています。

症状が無くなってもきちんと受診し、経過を観察していくことが大切です。

鼻水が出始めたら、早めの対応を心掛けましょう。

